

(人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針に則る情報公開)

『脱髄や脳障害後の白質再生を阻害する因子の探索』

本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

本研究の研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧をご希望の場合や個人情報の開示や個人情報の利用目的についての通知をご希望の場合も問い合わせ窓口にご照会ください。なお、他の研究参加者の個人情報や研究者の知的財産の保護などの理由により、ご対応・ご回答ができない場合がありますので、予めご了承ください。

【対象となる方】

2009年4月より2023年12月までの間に、国立精神・神経医療研究センター病院で病理解剖され、NCNPブレインバンクでの剖検検体の保管および研究使用に関して同意された方の中から、死後の病理学的解析により脳梗塞ありと診断された方

【研究期間】

研究実施許可受領後（2024年XX月XX日）より2028年3月31日まで

【研究代表者】 自治医科大学 山崎 礼二

【研究責任者】 国立精神・神経医療研究センター 病院臨床検査部 高尾昌樹

【試料・情報の利用目的及び利用方法】

多発性硬化症患者や脳梗塞などでは、脱髄後の白質の再生（再ミエリン化）が阻害されると、病状が悪化することが知られています。これまでの動物実験などから、白質の再生阻害にはI型コラーゲンの蓄積が関係することが示唆されていますので、本研究では、ヒト脳パラフィン切片を用いてin situ hybridization法及び免疫染色法により、人におけるI型コラーゲンの蓄積と白質の再生阻害の関係を調べ、I型コラーゲンを産生する細胞の同定を行います。

【利用又は提供する試料・情報等】

試料：脳組織パラフィン切片

情報等：付随する情報（性別、年齢、死後時間、疾患名、診断情報、病理解析結果）

提供する試料・情報の取得の方法

ご遺族の同意を得てNCNPブレインバンクに寄託、保管されている。

【共同研究機関】

自治医科大学 研究責任者 山崎 礼二（研究代表者）

国立精神・神経医療研究センター 研究責任者 高尾 昌樹

新潟大学脳研究所 研究責任者 柿田 明美

○問い合わせ窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター

所属 病院 臨床検査部 氏名 高尾昌樹

電話番号 042-341-2711 (代表)

○苦情窓口

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター倫理委員会事務局

e-mail : ml\_rinrijimu※ncnp.go.jp (「※」を「@」に変更ください。)